										SI) G s	のゴ	ール	・ター	ゲット	のマッ	ピン	グ		
カテゴリ		環	削面該 社 会	経	期待レベル	2011113	1 188	2 ***	3 ====================================	4	5	6 7 m	7 8		10 11	_	13	14 15	5 16	+
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		0	0	基本	・入学試験の際の受験資格には、性別、年齢、人種、出身に関する要件は示されていない。学校幹部で構成される入試委員会における合否判定においても、差別的な判定は行われていない。					5.1 5.2 5.5		8.	3.5 3.7 3.8	10.2 10.3				16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		0	0	基本	・ハラスメント防止に関する規程が整備されており、ハラスメント相談の窓口の設置及び学生 向けのハラスメントに関する講義も行われている。					5.1 5.2 5.5			3.5					16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない			0	基本	・時間外勤務の申請及び実績報告により学校幹部が長時間労働が行われていないことの確認を している。								3.5						
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		0	0	基本	・外国人の入学については、一般学生との差別なく許可している。又、教員についても外国人 としての差別なく外国人の外部講師を招聘している。				4.4				3.7	10.2 10.3					
5 人権	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		0	0	基本	・教職員については労働基準法の適切な運用が行われているとともに、教員、学生が任意保険 に加入しており、通学・通勤時の事故及び授業・実習時等の事故に対応できるようにしている			3				8	8						
労働 6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		0		基本	・学生の生活相談・カウセリングに関する規程が整備されており、非常勤のカウンセラーが毎 月カウンセリングを行っている(学生・教職員対象)。			3											
7	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		0	0	基本	・授業内容に応じた、多様な外部講師を招聘している。					5.1 5.5		8.	3.5	10.2 10.3					
8	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		0	0	応用	・健康管理に関する規程及び委員会が設置されており疾病の予防と健康保持が図られている			3				8	8						
9	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		0	0	応用	・関連分野における先端的な知識・技能を習得するための外部研修に積極的に参加し教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われている。				4			8	8 9						
10	【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		0	0	応用	・医療法人報徳会の臨時従業員就業規則において、無期雇用への転換・正職員への任用換えを 規定している。							8.	3.5	10.2 10.3					
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	0		0	基本	・廃棄物の種類・量などを把握して、削減のための計画策定に着手している。									11.	12.3 6 12.4 12.5		14.1		
12 環境	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	0			基本	・校内に学生によるエコ係を設置して、毎年活動計画において省エネに向けた活動を策定して いる。						7	7.3				13			
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	0		0	基本	・ipadを全学生へ貸与してICTを活用することにより用紙類の使用量削減を行い、温室効果ガス 排出量削減を図っている。							7.2			12.4	13.3			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	0	0	0	基本	・当校では、有害化学物質を使用していないが、環境衛生学の講義により法令で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用についての教育を行っている。			3.9			6.3			11.	6 12.4				
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	0			基本	・栄養学、薬理学他の講義をとおして生物多様性の重要性についての教育を行っている。						6.6						15	j	
16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	0			応用							6.4 6.6								

											SD	Gsσ	ゴー	ル・タ	ーゲ	ットの	マッ	ピンク	7"	
	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	環		级又	期待 レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	1 88	-+	3 4	. 5 	+	+	8 2020 9 3	9			13 13 HEART 14 5		15 16 17
17	環境・	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している				応用			:	3.9		6	7		+		12	13.3	14	15
18	垛块	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		(0	応用											12.6			
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	0			応用							7.2					13		
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	0	(0	応用											12.2	13	14	15
21		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	0	(0	応用						6.3				11.6	12 12.5	13 1	14 1	15
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		0		基本	・報徳会就業規則により、法令順守の徹底及び制裁を定めている。													16 16.5
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		0		基本	・報徳会就業規則により、法令順守の徹底及び制裁を定めている。													16
24	公正な	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている		(0	基本	・研究倫理委員会を設置して、知的財産を侵害するような取り組みについて検証していてる。							8.2 8.3	9					
25	事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		0		基本	・「個人情報保護に関する規程」を定めており、委員会において個人情報の保護に関する法律、個人情報保護委員会が定めるガイドライン等に基づく審議が行われている。													16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		0		応用														16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物 多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要 請している	0	0 (0	応用					5			8		.0	12	13	14 :	15 16 17
28	製品	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		0 (0	基本	・学校であることから、製品製造等は行われていないが、学生のマネージメントは教育及び校 内委員会をとおして適切に行われている。		:	3.9							12.4			
29	サー ビス	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している		(0	基本	・教育理念、目的、目標を定めてディプロマ・ポリシー(卒業時の到達度)、アドミッション・ポリシーの到達を確率している。								9					
30		【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	0	(0	応用						6					12	13	14 1	.5
31	サービス	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	0	0 (0	応用		1	2	3 4	1 5	6	7	8	9	.0 11	12	13	14	15 16 17
32	24.A	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	0	0 (0	基本	・りんどう祭(学校祭)において、地域のクリーン作戦を実施している。			4					9	11	12	:	14	15 17

										S	DG	sのゴ	ール	・タ-	- ゲッ	トの	マッ	ピング		
			3 側	面該当				1 2	3	4	5	6	7 8	9	10	11	12	13 14	15	16 17
=	ガテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項		社 会	径 し	期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	1 702 2 707	3 151825 -W&	4 TORIGINA	5 min	6 ******** 7 :	8 BE	9 ::::::	10 April parts	11 22222	12 sent	3 Harris	15 **** 16	₩ W W W W W W W W W W W W W W W W W W W
33	立 章 ・ 地	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	0	0 (Э	応用	・リレーフォーライフへの参加により、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。 ・ペットボトルキャップの回収によるリサイクル活動及びJCV「世界のこどもにワクチンを」へ の参加			4						11		14	15	17
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	0	(Э	応用	・りんどう祭(学校祭)において、地域活動支援センターによる野菜等の販売を実施している。						8	9		11	12	13		
35		【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している		0		基本	・自己点検・自己評価により法令順守の点検が行われており、点検結果を配布する又はホーム ページに掲載することにより浸透させている。													16
36		【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている		(Э	基本	・学生便覧等により、教育目標が明文化されている。						8	9						17
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		0		応用														16
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている		0		応用														16
201	組織 本制	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備され ている		0		応用														16
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の 取組を進めている		0		応用														16
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している		0 (O	応用														16 17
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	0	0 (O	応用	・「危機管理マニュアル」を策定し、自己や災害などの発生にともなう事業中断を想定した対 応策を策定している。又、防災訓練を実施している。							9		11		13 13.1		16
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		(Э	応用							8	9						17

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組			具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8 9	10	11 3	12 13	14 15	16	17
1																		
2																		
3																		
4																		

								S D (G s の	コー	ル・ターゲ	ットの・	マッピン	グ	
	CDC-の知上で土根、社人もと知体ともでは土地も東西	3側面該当			1	2	3	4 5	6	7	8 9 1	10 11	12 13	14 15	16 17
カテーゴリー	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	環社経	期待 レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	1 00 1/4 1/4	2 🚟	3 155245 -W*	4 mean 5 mm	6 seems	7 destruction	8 Black 9 Blacker 10:	11 35557 12	13 manuary (14 detects 15 till cont 16 till cont 17 till cont 18 ti	16 1999 17 1899
		境会済													

【記載留意事項】

- ・SDGsのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに<u>直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的(結果として)に寄与する場合は**赤字**で番号を記載しています。 (SDGsのゴール・ターゲットのマッピングの整数はSDGsのゴール(例:7)を表し、小数点を含む数字はターゲット(例:7.3)を表しています。)</u>
- ・「取組レベル」の<u>「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件</u>となります。

なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)

- ・「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。(※えるぼし認定、森林認証制度 など)